



国際学力調査とは、(日本では小学校4年生、中学2年生対象)読解力、数学、科学の3分野から、児童生徒、教師、学校に分かれ質問紙による方法で、2000年から3年ごとに実施されている学習到達度調査のことです。

義務教育修了段階において、これまで身に付けてきた、知識や技能を実生活のさまざまな場面で直面する課題にどの程度活用できるかを測る目的で実施されていますが、中でも中心的に詳細な調査が行われた読解力については過去最低の平均得点になったと萩生田文部科学大臣がコメントしておられます。

今年度から小学校でも新学習指導要領の着実な実施により主体的・対話的で深い学びの視点から授業改善や言語能力、情報活用能力の一層の充実が図られていくようです。

読解力の基盤は、『心の安全が守られる環境』が乳幼児期の重要な鍵と考えます。

家庭でも毎日少しの時間で良いので心通わせ合える時間を意識することで、その心地良さを味わわせることができます。

「どうやって接したらわからない!」と思われたら、お膝の上で絵本を一冊ゆったり読むだけでも良いのです。新年、子ども達の好きな絵本の時間をご家庭でもありますように!

災害時に備えて(お願い)

- ①年末年始は特に火災が多くなるシーズンです。慌てず火の元を確認をするようにしましょう。
- ②今年度も災害時に備えて各ご家庭で、防災用品、備蓄品のチェックをしましょう。
- ③保育園からの緊急携帯メールの発信があった場合には、保育園側でチェックをしますので、必ず携帯の文面に記されているアドレスをクリックして、確認されたことを知らせて下さい。
- ④昨年度途中より坂みみょう保育園は、町の指定する一時避難所になりました。大雨土砂災害などの警報が発令された場合は、地域住民の方も保育園に一時的に避難されることがあります。子ども達も2Fへ避難しお迎えを待つ体制をとりますので、ご家族にご周知ください。

新年明けましておめでとうございます。

～たくましくしなやかに～

旧年中は保護者の皆様、さくらんぼ会役員の皆様には、保育園運営にご理解、ご協力をいただき感謝申し上げます。

今年度も保護者の皆様と保育園との両輪で地域に根差した保育園運営を心がけたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

先月末の幼児の生活発表会には、たくさんのご家族や地域の皆様にご来園をいただき、子ども達の様ざまな姿を観ていただきました。

朝7時開門のお願いをしたところ、早朝から表門に席取りのため並ぶという保護者の皆様の姿はありませんでした。

また、1部年中児、2部年少、年長児という2部制につきましても、保護者の皆様の入れ替えもスムーズに行われ、会場の皆様の温かいまなざしと拍手により、子ども達ものびやかな表情をみせておりました。

あそびの中から生まれた生活発表会の達成感、積み重ねの一つの力として、今後のあそびや人と関わる力に大きく影響することと思います。

保護者の皆様のお便りやアンケートからは、子ども達の成長を確認し合った喜びや感動が伝わってくるものが多く寄せられ感謝申し上げます。

年が明け令和2年の幕開け。4月からは小学校の学習指導要領も改訂になり、全教科で主体的・対話的・深い学びということでアクティブラーニング(児童が能動的に学ぶ)が始まります。

就学を迎える年長児が保育園と小学校のスムーズな接続のため、坂地区の保小連携会が何度か開催される中で、教育委員会や広島県教育アドバイザー様にもご来園いただき、保育園で育てたい力

についてお話をする機会がありました。生活やあそびの中で、子ども達の意向を汲み取りながら環境を準備し対話的に保育を展開しようとしている保育園の姿をご理解いただいているところです。

園内報第53号「みみょう」(事務室前のラックに有り)の巻頭文の中で松尾龍一理事長は、これからのみみょうの保育として『たくましくしなやかに』と題されて、たくましい知性とは乳幼児期において楽しさや変化をどん欲に求め、あそびの中で意欲や粘り強さ、自尊心、自己抑制、人と関わる力と言われる非認知能力を身につけることの重要性としなやかな感性の出発点は乳幼児期において、しっかり愛され、他人が好きになり、普通の愛情で満足できることであることの大切さも合わせて記されています。

実践の中で私達職員は、0歳の時から周りのことに興味や関心をもってもらいあそびを深めるためにどんな環境を準備し、子ども達が満足感や達成感を持っているかを読み取り「何かができる」より「何かがしたくなる」方向を今年も対話的に探っていこうと思っています。

ご家庭でも「ああしなさい」「こうしなさい」と過剰に指示したり、親の思いや希望を押し付けたりしないこと、子ども達の言い分を否定せず、自分で決めたことを後押ししてあげるなどして、自己肯定感を育むよう努力することで、子ども達のたくましさやしなやかさの健やかな育ちを願いましょう。

これから寒さも一段と厳しくなります。インフルエンザA型、RSウイルス感染症、溶連菌感染症、感染性胃腸炎など多種多様な感染症の流行の兆しがあります。規則正しい生活リズム、食事管理、手洗いうがいの励行など家庭と保育園の両方で体調管理に努めてまいりましょう。(園長 倉本弘子)

とんど祭り・園開放

昨年12月5日の餅つき会で森浜地域の皆様や保護者有志のご協力をいただきながら鏡餅やとんど用の餅も作っていただきお正月の準備をしました。森浜地区に伝わりとんどの組み立てを見たり、とんど袋や書初めを飾ったりしながら無病息災をお祈りします。森浜地区に伝わる伝統行事に参加しながら地域の方々との交流は子ども達にとって心に残るものとなるでしょう。

家庭にあるしめ縄や正月用のお飾りなど1月9日(木)までに保育園にご持参いただくと、とんどに飾ります。

日時: 1/10(金) 午前10時~11時

場所: 坂みみょう保育園 菜園

※この日は園開放に参加の地域の親子にも参加していただきます。

菜園活動

地域のつながりに感謝

保育園の菜園の栽培活動では、森浜地区の老人会会長であり、子ども達には「もりきのおじちゃん」と親しまれてきた森木洪太様にはこれまで大変お世話になってきましたが、体調等もあり昨年末で引退という申し出がありました。12月のクリスマスお楽しみ会でご来園いただいた民生委員、児童委員の皆様にご相談したところ、その中から正原美恵子様、中本明雄様、高下道寿様が中心となり、菜園活動のお手伝いをして下さることが決まりました。今年も引き続き食育活動の推進が、地域の皆様を中心にできることになり、地域のつながりに感謝しているところです。